



尼崎市立立花中学校

学校だより

令和4年10月号

強く生き、正しく考え、優しく関わる立中生

やり抜く力をつける

校長 岡本 修一

朝晩には涼しいほどになりました。スポーツの秋、そして実りの季節になりました。毎年決まって秋分の日(お彼岸)近くになると彼岸花の茎がすっと伸びて開花するものです。彼岸花には、別の呼び名がたくさんあります。曼珠沙華、きつね花、かみそり花、地獄花などの名前がつけられています。この花の地下茎には毒が有り、昔の人はモグラやネズミが田や畑に近づかないように毒のある彼岸花を畦(あぜ)によく植えたようです。また、お墓の近くでもよく見かけます。これは、昔は土葬だったので虫除けや動物によって掘荒らされるのを防ぐためだとも言われています。昔の人の知恵はすごいです。



このような秋、合唱コンクールのシーズンがやって来ました。歌が得意な人、苦手な人、音楽が好きな人、嫌いな人もみんなにとって何かを得ることができる、クラスみんなの心をひとつにする合唱。とても大切な時間となることでしょう。歌い切った、「よし、やりきった」と言えるような取組と努力に期待するとともに、楽しみにしています。その他、9月下旬から運動部では、市内新人大会が始まりました。10月は尼崎市総合体育大会、合唱コンクール、文化発表会などの文化行事と体育行事がたくさん予定されています。生徒の皆さんは、1人ひとりが目標を達成できるようやり抜きましょう。地域、保護者の皆様の励ましの言葉かけと、ご声援をよろしくお願いいたします。



【2年生 地域に学ぶトライやる・ウィークのとりくみ】

生徒たちが職場体験、福祉体験、勤労生産活動など、地域での体験活動を通じて働くことの意義、楽しさを実感して、社会の一員としての自覚を高めるなど、生徒一人ひとりが自分の生き方を見つけられるよう支援する取り組みが「地域に学ぶトライやる・ウィーク」です。今年は3年ぶりに、2年生の生徒たちが5日間、地域の各事業所等に分かれて体験活動をやり抜きました。

各事業所の皆さまには大変お世話になりました。本校では、学校・家庭・地域社会の連携を深め、社会全体で子どもたちの人間形成や社会的自立の支援を行うことで、子どもたちを中心



とした地域コミュニティの構築へと発展させていきたいと考えております。地域の各事業所の皆さま、地域の皆さま、来年度もよろしくお願いいたします。



【避難訓練を実施しました】

9月22日に、大変暑い中ではありましたが、尼崎市消防局の皆さんのご指導を受けながら、通報訓練、避難訓練、消火訓練の火災避難総合訓練を実施しました。今年も市内で数件の放火事件がおこり、犠牲者もでています。「おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない」(おはしも)を忘れず、生徒も、職員も真剣に取り組みました。私からは、火災を発生させないための未然の取り組みと非難時の点呼の大切さの話をしました。火災は、いつ、どこで、どのように発生するかわかりません。これからも学校では地域、関係機関と共に、災害発生時に生徒たちの命を守ることができる安全教育をしていきます。



【お願い】

「ミマモルメ」の登録がお済みでない保護者の方は、登録をお願いいたします。ミマモルメの「欠席遅刻等連絡受付機能」活用をすでに開始しております。ご活用いただきますようお願いいたします。